

第 480 回 （9 月定例） 福崎町議会

福崎町長 橋 本 省 三

皆様おはようございます。第 480 回定例議会を招集いたしましたところ、全員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

平成 30 年 9 月議会の開会にあたりご挨拶申し上げます。

この夏は記録尽くめの異常気象となりました。

7 月 5 日から 8 日にかけての「平成 30 年 7 月豪雨」では、西日本を中心に雨が降り続き、各地で 48 時間雨量が観測史上最大となりました。広島県、岡山県を中心に、土砂崩れ、堤防の決壊など、各所で災害が発生し 200 名を超える方々が犠牲となる「災害」となりました。全壊した家屋は 5,000 棟を超え、多くの方が避難所生活を余儀なくされました。また、宍粟市においても、土砂崩れにより 1 名の方が犠牲となりました。

犠牲者の方には謹んでご冥福をお祈りいたします。また、被害にあわれたみなさまに、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

西日本豪雨の後には全国的な猛暑が始まりました。7 月 23 日に埼玉県熊谷市で最高気温 41.1 度を記録し、国内記録を 5 年ぶりに更新しました。7 月 24 日には、福崎町でも 38.8 度と、記録を塗り替えました。今年の 7 月に観測史上最高気温を塗り替えた地点は全国で 113 地点に上りました。

猛暑が続くなかで熱中症による健康被害は深刻化し、消防庁の発表によりますと 7 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 54,220 人で昨年のおよそ倍、死亡者は 133 人で、統計を取り始めて以来過去最多となりました。その多くは高齢者ですが、愛知県の小学 1 年生が校外学習から戻った後、意識不明となり命を落とすという痛ましい事故もありました。各学校においても、生徒、児童が暑さによる体調不良を訴え、救急車で搬送されるケースも見られるようになり、県下では、プールの水温やプールサイドの気温の上昇による熱中症を予防するため、夏休みのプールを全面中止する学校も出たほどでした。

7 月末に上陸した台風 12 号は、東から西に進む異例のコースを取りました。8 月 23 日から 24 日に上陸した台風 20 号は、台風の目が福崎町を通り、被害は幸い軽微なもので済みましたが、関西を中心に雨と暴風により、淡路市では高さ 60 メートルの風車が倒

壊するなど大きな爪あとを残しました。9月に入っても、台風21号が発生、4日の午後
に近畿地方を縦断いたしました。

また、昨日は、深夜に北海道厚真町を震源地とした震度7の地震が起きました。電
気水道などライフラインが寸断され、各所で土砂災害が発生し、行方不明者も多数おら
れ、今なお救命活動が続いています。

このように、ここ数年の間に、類のない災害が起こるようになり、非常に対策が立て
にくくなってきた感があります。そのような中においても、住民の安全安心に万全の体
制で望めるよう防災減災対策を含め、住民への防災啓発、また関係機関との情報連携、
体制整備に努めていく所存であります。

さて、今年度も上半期が終了しようとしています。

3月議会で所信表明いたしました、今年度事業についての進捗状況を報告させていた
だきます。

【第1の柱】地域づくり（参画と協働）

自治会における自律(立)のまちづくり交付金事業を、全集落で取り組むこととなり、
参画と協働による地域の活性化を進めています。

平成31年度から第5次総合計画の後期計画が始まることから、すでに審議会、まちづ
くり委員会等を開催し「活力にあふれ 風格のある 住みよいまち」づくりの具体策を
検討しています。

各集落に出向き、直接住民から意見をいただく行政懇談会は3年目に入り、本日まで
に計29地区で開催しました。懇談会では地域の意見や要望が具体的に示され、きめ細か
い行政を推進するうえで役立っています。

【第2の柱】教育・文化（ひとづくり）

「子ども子育て」では、子育て世代包括支援センターで、妊産婦の要支援者について
産婦人科等の関係機関と連携を図りながら、助産師による家庭訪問やマタニティ教室の
参加を促し、継続的な相談や支援を実施しています。

子育て世代支援者連絡会は4月から隔月で実施し、要支援者や発達に課題のある乳幼
児について情報共有し、連携を図っています。

高岡小学校のプールろ過装置の配管更新及びプール槽、プールサイドの防水シート張
り改修が完了し、6月から8月まで、児童は新しくなったプールで泳ぐことができました。
また、老朽化の進んでいる学校施設(小中学校)では、計画的な長寿命化を図るため、

前年度に実施した調査をもとに、学校施設等長寿命化計画策定検討委員会を組織して検討して参ります。

本年4月1日から開始したコーベフーズ株式会社による給食共同調理センター調理等業務委託は、町職員の管理の下、町内の学校園に安全・安心な給食を提供しています。

遠野市との友好都市共同宣言による交流事業の一つとして、小学校6年生児童15人による訪問団を組織し、8月27日から29日の3日間、遠野市を訪れ子ども同士の交流を行い両市町の絆を深めました。今後は訪問団員による報告集を作成し、町内児童へ遠野物語原風景の体験を共有し、民俗学者柳田國男先生のさらなる顕彰に繋げて参ります。

第39回山桃忌は、「柳田國男と遠野物語」をテーマにし、開催いたしました。第1部は、講演、シンポジウムを、第2部は、遠野の語り部、大平悦子さんに遠野物語の語り、張山しし踊り保存会に遠野の民俗芸能であります「しし踊り」を上演いただき、多くの来場者を迎えることができました。

【第3の柱】生活・環境（安全）

今年度の防災・減災対策事業について、町道大貫山田線の冠水対策を7月5日に詳細設計の入札を実施し、現在、対策工事の発注に向け準備を進めています。

農村地域防災減災事業については、板坂奥池と大門大年谷池のため池耐震診断等業務、権現井堰の河川工作物改修計画書策定業務について発注を行いました。

防災マップの改訂版の作成を進めており、土砂災害特別警戒区域（レッド区域）や市川の洪水・浸水想定区域の見直しを反映させます。

今年6月に兵庫県が2級河川、市川の洪水・浸水想定区域図を作成し公表しましたが、現在、市川支流の県河川（七種川、雲津川、平田川、西谷川）も洪水・浸水想定区域の調査を実施していることから、防災マップの作成は平成31年度となる見通しです。

ごみ処理事業では、新たに水銀使用廃製品「蛍光灯・乾電池」などの収集を6月から開始しました。また、小型家電リサイクル法による取り組みとして、小型家電の回収を町施設等5か所に回収ボックスを設置し、8月から始めています。

第27回兵庫県消防操法大会が、7月22日、三木市の兵庫県立広域防災センターにおいて、実施されました。中播磨地区代表の庄分団が、小型動力ポンプの部で優勝し、大会6連覇という偉業を成し遂げました。県大会で優勝した庄分団は10月19日（金）、富山県広域消防防災センターで開催されます第26回全国消防操法大会に兵庫県の代表として出場します。是非、練習の成果を発揮され、再び全国優勝という栄冠を手にするよう願っています。

【第4の柱】健康・医療・福祉（安心）

10月1日から、巡回バスの利便性向上や、神崎総合病院の受診を目的とした市川町との連携、神戸医療福祉大学バスとの連携を図ります。現在、制度の大幅拡充を周知するため、各自治会のミニディなどを利用して説明会を実施しています。

介護保険の総合事業では、利用者が持っている力を高める計画作成が行なえるよう、作業療法士、薬剤師、歯科衛生士等専門職で構成する自立支援会議を月1回開催し、ケアマネジャーの計画立案にアドバイスをを行っています。専門職による多角的な面からの助言は、利用者の自立支援だけでなくケアマネジャーの資質向上にもつながっています。

女性のがん検診受診率向上啓発事業として9月29日から1週間役場庁舎をピンク色にライトアップします。

【第5の柱】産業振興（活力）

毎年、兵庫県が8月に発表する「兵庫のすがた 2018」で、人口一人当たりの商業での年間販売額は昨年と同様の5位でしたが、工業の製造品出荷額は県下でトップとなりました。先人が地の利を活かして工業、商業の振興に取り組まれた成果であり、更にその振興に努め地域の活力を高めてまいります。

「ひょうご森のまつり 2018」と「福崎秋まつり」の共催事業について、実行委員会を2回開催し、県内各地区からのお客様に喜ばれるよう準備を進めています。

高岡・福田地区の県営ほ場整備事業は、工事に向け実施設計を進めており、山崎地区では、ほ場整備事業の調査業務を始めました。

駅前のにぎわい創出として取り組んでいる〇〇まるしえは、今年度6月と7月に開催し、3回目を本日5時から、夜の部「赤ちょうちん」として開催します。地域の情報交換や語らいの場として定着していくことを期待しています。議員の皆様もぜひ立ち寄っていただければと思います。

七種山のベンチ修繕等を発注をいたしました。

買物困難地域の支援策として、商工会とともに進めている移動販売の実証実験につきましては、移動販売を行う委託会社は（株）ひのストアに、車の愛称は「ふくふくまる」に決まり、10月中旬頃から運行を開始します。

【第6の柱】まちの基盤（利便・快適）

福崎駅周辺整備事業は交流広場、駅前観光交流センター、交通広場の整備を進めるとともに、町道福崎駅田原線は北側歩道部分を除き、道路工事を発注しました。収用手続きも引き続き進めてまいります。

辻川界限では、観光交流センターや旧辻川郵便局の移築、辻川界限線の延伸など工事の進捗を図っています。

橋梁整備事業では、長野橋及び七種川橋の橋梁補修工事を実施します。

町営住宅駅前団地の建て替え工事については、今年度1か年での建設予定でしたが、国庫補助金の全額交付が見込めないことから、今年度と来年度の2か年で建設することといたします。今回、その補正予算、債務負担行為を計上させていただいております。

続いて、各課からの報告を行います。

【総務課】

岩手県遠野市との友好都市提携から今年は4年目を迎えました。

本年は、小学生たちの児童交流のほか、10月には遠野市産業祭に私も参加する予定です。11月の福崎秋まつりには遠野市長が来町予定でそれぞれの産業祭で互いの特産品を販売いたします。

今年度の女性委員会は、テーマを「少子高齢化社会における住みよい福崎町」としてワークショップを進めています。また、女性の持つ豊かな感性や生活体験を通した率直な意見をいただくため、意見交換会を開催しています。

職員のやる気やモチベーションを向上させるため、勤務実績や努力が直接給与に反映する人事評価をおこない、勤勉手当に反映いたしました。

職員のおもてなしの心を養うため、10月に職員全員を対象に接遇研修を予定しています。派遣研修においても専門知識や役職意識、企画実行力を養うため多数の職員を参加させています。

平成30年度職員採用試験の申込状況ですが、一般行政職は2人程度の採用予定に対して47人、保健師1人に対し5人の応募がありました。1次試験は、今月16日の日曜日に神戸医療福祉大学で実施します。

選挙管理事務についてですが、選挙人名簿の定時登録者数は、9月1日の基準日現在、男性7,493人、女性8,161人、計15,654人となり、前回の6月基準日より59人の減となっています。

【企画財政課】

固定資産台帳の整備をはじめとする、統一的な基準による地方公会計の整備を行い、平成28年度決算における財務書類4表を作成しました。今後、委員会等でご報告いたします。

今議会での補正予算に、新町井堰災害復旧工事や第1町民グラウンドの整備改修などを

計上していますが、予算執行にあたっては、迅速かつ慎重な対応で進めてまいります。

今後も第5次総合計画及び総合戦略の実現に向けた取り組みを進めます。

【税務課】

今年度から兵庫県全体で取り組んでいる個人住民税の特別徴収、一斉指定を実施しました。実施に当たっては、特別徴収指定事業者からの反発などもなく、スムーズに移行できており、収納率の向上にも寄与するものと思います。

平成30度の町税等の納税通知書及び介護保険料納入通知書は6月15日に、後期高齢者医療保険料の納入通知書は7月13日に発送しました。

また、固定資産評価台帳の縦覧を4月1日から6月30日で行い、縦覧、閲覧件数は、法人16件、個人59件、計75件ありました。なお、評価額に対する異議申出はありませんでした。

税の公平性の確保に向け財産調査・納税相談等を行い、滞納者の生活実態の把握に努めながら適切な滞納整理に努めています。債務承認・分納誓約などにより時効の中断を図りながら、差押・換価などの滞納処分を行うことにより収納率の向上に努めています。

また、滞納整理対策委員会においても、関係課と連携を図りながら、滞納整理に取り組んでいます。

【地域振興課】

8月9日に、町内企業や各種団体などの協力を得て、福崎夏まつりを盛大に開催することができました。

商工業振興では、商工会との連携を密にし「なっ得商品券」発行による地域の消費拡大や産業活性化緊急支援事業に取り組んでいます。

観光としては、柳田國男先生の著書にちなんだ妖怪をテーマとした造形コンテストの開催や河童の着ぐるみ、妖怪ベンチの設置など新聞やテレビを通じて、「福崎町と柳田國男」を全国に発信しています。

特産「もちむぎ」については、兵庫県や商工会など関係団体と連携した産地振興を進めています。

消費生活では、町民の皆さんが安心して暮らせるよう、消費生活相談の充実を図るとともに積極的に出前講座にも出向き、消費者被害の防止に取り組んでいます。

【住民生活課】

個人番号カードの取得促進のため、引き続き子育てワンストップサービスのPRや写

真撮影の無料サービスを行うほか、今後、自治会に出向いてのカード申請説明会を実施していきます。

平日・昼間の初期消火活動などをしていただくための機能別消防団員について、応募のあった11名で発足をしました。引き続き募集を行っていきます。

本年度の交通安全モデル地区に、西大貫自治会を指定し、7月7日に西大貫区の日吉神社での交通安全祈願祭を行いました。

また、秋の全国交通安全運動が9月21日から30日までの予定で実施されます。

【健康福祉課】

食育推進事業で、生活習慣病予防と、一人で食べるのではなく家族や友人と一緒に食事をする共食の場の提供を目的に、5月から月1回「福咲き♡健康食堂」を開催しています。毎回定員の30人の参加があり、食することで減塩や低カロリー食を学ばれています。調理は「食堂ボランティア」にご協力いただいております、食育を支える人材育成の場にもなっています。

介護保険の包括的支援事業では、増加する認知症の方やその家族などへの支援の一環として、コミュニティカフェ「笑（えみ）」とオレンジカフェ「結（ゆい）」の運営支援を行っています。地域包括支援センターが相談を受けた、閉じこもりがちな認知症の方に、外出の場として紹介できる「居場所」となっています。

【農林振興課】

農業委員会では、8月末に農地パトロールを実施しました。この結果を受け、農地所有者等の意向調査や草刈り等の管理指導、担い手へのあっせんを行います。

農政関係におきまして、経営所得安定対策については、例年通り着実に進めています。多面的機能支払交付金制度については、昨年度、同様9月中の概算払いを目指して現在、手続きを進めています。

各集落において、地域の農業を地域の皆様に考え取り組んでいただく「人・農地プラン」については、策定済が14集落、検討中が9集落です。残る11集落についても、説明会を開催するなど、策定に向けた取り組みを引き続き行ってまいります。

また、地域資源保全管理構想については、今年度中に作成すべき21集落中、策定済が11集落、作成中が2集落です。残り8集落についても早期に策定をしていただけるよう働きかけます。

特産もち麦につきましては、春日ふれあい会館の6次産業化施設の整備が完了し、今年度はその利用率アップに向けて、もち麦に係る麺打ち体験などイベントを実施してい

ます。

【まちづくり課】

町道駅田原線の延伸に向け、関係自治会への説明会実施や県との調整等を行っています。

また、福崎町東部工業団地の拡張に向け、農振農用地の除外申請等について県と協議を進めます。

特別指定区域制度については、順次、流通倉庫等の建築が可能な特定区域の指定や、地縁者住宅区域の見直し、新規居住者区域の指定を進めています。

空き家対策については、危険な空き家の指導と、所有者の意向を確認うえ、利活用を進めてまいります。

【上下水道課】

水道事業では、水道事業の健全な経営と安全・安心な給水を持続するため水道事業ビジョン・経営戦略の策定を進めています。また、施設の耐震化を図るため工業団地配水池の更新工事に着手しています。

下水道事業汚水整備では、ストックマネジメント計画の策定に取り組み、福崎浄化センターなど処理施設の効率化や長寿命化について検討していきます。

長目地区コミュニティプラントの公共下水道への切替工事及び福崎企業団地舗装本復旧工事については、今月末の入札を予定し、あわせて、公共下水道へ移行するための条例整備や会計処理について調整を進めてまいります。

雨水整備では、南田原地区の浸水被害を軽減するため川すそ川上流部の詳細設計に着手するとともに、福田地区において、直谷第2雨水幹線整備の事業化に向けた計画づくりを進めています。

また、福崎駅周辺整備事業の進捗状況に合わせ、水道配水管及び污水管の布設工事を進めています。

公共下水道への接続率の向上を図るため、下水道普及推進員を配置し、接続されていないご家庭を訪問し、早期接続の啓発と下水道事業に対する理解を求めています。

【学校教育課】

近年の猛暑に対応していくため、学校施設の空調設備整備に向け、町内小学校1、2年生及び中学校3年生の空調設備の実施設計を発注しました。

子育て支援における計画的な事業推進に向けた、第2期子ども・子育て支援事業計画策定に向け、子育て需要等を把握するためのアンケート調査を実施します。

中学校の体育大会を9月15日（土）に、認定こども園と小学校の合同運動会を9月22日（土）にそれぞれ小・中学校で開催します。

【社会教育課】

兵庫県指定文化財 大庄屋三木家住宅において、辻川在住の現代工芸作家・鈴木みゆきさんの作品展、また、五月人形展や手作り風鈴展など、さまざまな企画・展示をおこないました。

歴史民俗資料館では、吉識雅夫生誕110年記念とし「吉識雅夫～造船王国・日本の先導者～」と題した企画展を開催しました。今後も引き続き、柳田國男先生とともに吉識雅夫先生の顕彰をおこなってまいります。

福崎町子ども会球技大会を7月1日に田原小学校で開催しました。多くの応援の中で熱戦が繰り広げられ、ソフトボールは田尻子ども会が優勝、辻川子ども会が準優勝に、また、バレーボールは山崎子ども会が優勝、田口・長野子ども会が準優勝に輝きました。これらの4チームは、7月21日に行われた神崎郡大会に出場し、ソフトボールで辻川子ども会、バレーボールでは山崎子ども会が優勝の栄冠を手に入れました。

平成26年度から取り組んでいます柳田國男検定を今年も実施し、多くの人に柳田國男先生を学ぶ機会を提供しました。

自治会ソフトボール大会は、8月17日から5日間の熱戦が繰り広げられ、優勝は吉田自治会、準優勝は板坂自治会で幕を閉じました。

図書館では、恒例の行事となりましたキャンドルナイトを、9月14日の夕暮れから開催いたします。

続きまして、今議会提出議案の概要について、ご説明申し上げます。

（略）

今議会に提出した議案は、報告が2件、議案は人事案件が1件、決算が7件、条例制定が1件、条例改正が3件、補正予算が3件、その他1件の、全18件となっています。詳細説明は、副町長ほか、担当課長が行いますのでご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。冒頭あいさつといたします。